

IV. 利用者利便向上に向けた取り組み等

国土交通省本省

【公益通報受付窓口の設置】

公益通報者保護制度とは、平成18年4月の公益通報者保護法の施行に伴い、設けられたものです。具体的には、公益通報（いわゆる内部告発）を行った通報者の保護を定めたものであり、事業者、行政機関等の内部の労働者が、組織内部の国民の生命、財産等にかかわる法令違反行為を通報したことで、解雇等の不利益取扱いを受けることのないよう、公益通報者に対する解雇の無効、不利益取扱いの禁止等を規定したものです。

国土交通省としても法にも基づく公益通報及び公益通報に関する相談業務を適切に処理し、公益通報者保護制度の円滑な運用を図るために、ホームページ、手紙等文書及びFAXにて公益通報を受け付けできるよう専用の受付窓口及び相談窓口を設置しております。

OTEL：03-5253-8124（平日10:00～17:00まで）

※電話はお問い合わせのみ。通報自体はHP、郵送若しくはFAXにてお願いします。

OFAX：03-5253-8031

OH P：<http://www.mlit.go.jp/appli/file000017.html>

【国土交通ホットラインステーション】

国土交通省本省においては、当省における業務が国民生活に直結する以上、国民とのアクセスを密にし、世の中の変化に即応した行政を行うことが不可欠であるとの認識のもと、国民各層からの要請、意見、相談等に一元的に対応し、こうした国民各層からの声に即応した行政の推進を図るために、平成16年7月に国土交通ホットラインステーション（HLS）として、国土交通省内に窓口が設置されました。

現在、HLSは、大臣官房広報課長を室長、大臣官房上席監察官及び総合政策局安心生活政策課長を次長として、各関係課からの課長補佐相当の職員が常駐（輪番制）するという体制で運営されています。

HLSへの相談については、国土交通省のホームページから365日24時間アクセスできるようになっているほか、電話、来訪、FAXなどによっても受け付けが可能となっており、平成21年度は約12,000件の問い合わせや意見等の相談がありました。

なお、HLSは、中央合同庁舎3号館のB1階の入り口付近（右側）に設置されています。

OTEL：03-5253-4150（平日10:00～17:00まで）

OFAX：03-5253-4192

OH P：<http://www.mlit.go.jp/useful/hotline1.html>

（HLSのロゴマーク）



（HLS入口）



【第3回バリアフリー化推進功労者大臣表彰式を開催】

平成22年1月19日、中央合同庁舎3号館において、第3回のバリアフリー化推進功労者大臣表彰式を開催しました。

この表彰制度は、ハード面での整備と併せてソフト面での取組みを進めることにより、総合的なバリアフリー化を図るという「バリアフリー新法」（平成18年12月施行）の趣旨に鑑み、国土交通分野のバリアフリー化推進において多大な貢献が認められた方々を表彰し、優れた取組みを広く普及させ奨励することを目的として創設しました。

受賞対象は、地方整備局、地方運輸局等から推薦された34の候補のなかから、有識者による選考委員会の審査を経て、6件（10団体）を選定しました。

表彰式では、首都大学東京都市環境科学研究科教授（当時）の秋山哲男先生に、受賞者のご紹介を兼ねた講評を行っていただき、複数の団体が分野間に連携している点やソフト的な仕組みも評価した旨お話をいただきました。

受賞事例報告として、札幌雪まつりの見学介助ボランティアや、フェリー・ターミナルを利用したバリアフリー旅行の啓発など北海道のバリアフリー・ツーリズムの普及活動を実施した「(NPO)手と手」及び「新日本海フェリー(株)小樽本店」、既存の野球場において地域の障害者団体等の意見を設計へ反映し、車いすエリアや多機能トイレの整備など既存施設の改修によるバリアフリー化を実施した「(株)楽天野球団」、既存の地下鉄駅に可動式ホーム柵の設置など先導的なバリアフリー化を進め、新設駅にホームドアのほかストレッチャー対応エレベーターの設置など高次のバリアフリー化を実施した「東京地下鉄(株)」、世界遺産を含む山間の観光地として、来訪者の意見もくみ取りながらバリアフリー基本構想を策定し、また、町と事業者が連携して、ケーブルカーで車いすの乗降を可能にするなど戦略的なバリアフリー化を実施した「南海電気鉄道(株)」及び「高野町」、新設の野球場における車いす用観戦スペースや難聴者用補聴設備の整備など、幅広い層のスポーツ観戦を参加促進するための高次のバリアフリー化を実施した「広島市」、高知駅とその周辺地域に地域の障害者団体等の意見を反映しながら関係事業者が連携し、鉄道やバスなどが行き交う地域の拠点的交通結節点として総合的なバリアフリー化を実現した「高知県」「高知市」及び「四国旅客鉄道(株)」から、それぞれの取組みや活動内容を発表いただきました。

そして、前原誠司国土交通大臣（当時）からの表彰状授与と記念撮影が行われました。大臣から直接表彰状と記念品を受け取られた受賞者の方々の笑顔のなかで、表彰式は成功のうちに終了しました。



大臣表彰受賞者（6件）

特定非営利活動法人 手と手／新日本海フェリー株式会社 小樽本店

～北海道におけるバリアフリー・ツーリズムの普及～

受賞者の「特定非営利活動法人 手と手」は、障害者等にとって参加の困難度の高い「さっぽろ雪まつり」において、雪道という条件克服のため車いすに工夫を加えながら、長年に渡って多数の市民ボランティアと協力して、障害者等の雪まつり見学の介助ボランティアを実施しています。

また、受賞者の「新日本海フェリー 小樽本店」は、バリアフリー化に関する国民の理解を深める「バリアフリー教室」において、講師を派遣する「手と手」と連携して、実際のフェリーやターミナルを活用し実践的な講習を行うとともに、障害者自身に対しても船旅の楽しさを体験してもらうことにより障害者を含むツアーの実施に結びつけるなど、効果的な啓発活動を継続的に実施しています。

両者がこれらの取組みを通じて、北海道におけるバリアフリー・ツーリズムの普及に貢献していることを高く評価しました。



雪まつりでの介助ボランティア活動



バリアフリー教室の様子（フェリー内）

株式会社楽天野球団

～既存野球場の改修におけるバリアフリー化～

受賞者は、野球場整備（改修）において、地域の障害者団体等との意見交換の中でのアドバイスを的確に設計に反映し、5つのエリアに車いす席を整備、多機能トイレを15箇所新設、エレベーターを4箇所設置したほか、授乳室の整備や託児サービスの実施、総合案内に手話ができるスタッフを配置するなど、制約の多い既存施設の改修でありながら、しっかりとしたバリアフリー化に取り組み、障害者をはじめ幅広い層へのスポーツ観戦への参加機会の拡大に積極的に取り組んでいる点を高く評価しました。



車いす席（外野席）

東京地下鉄株式会社

～既存及び新規の鉄道施設における先導的なバリアフリー化～

受賞者は、南北線において我が国の地下鉄で初めてホームドアを設置したことに始まり、既存施設である丸ノ内線などにおいて、限られた空間内で、営業しながら可動式ホーム柵やエレベーターを設置するなど、新規、既存の鉄道施設における先導的なバリアフリー化を実現するとともに、副都心線においては、ホームドアは言うに及ばず、ストレッチャー対応エレベーターの設置や複数の多機能トイレの設置など、高次のバリアフリー化を実施したことを高く評価し、また鉄道事業者のトップランナーとして、今後のさらなる取組みにも期待し、表彰することとしました。



ホームドア

高野町／南海電気鉄道株式会社

～世界遺産を抱える観光地における戦略的なバリアフリー化～

受賞者は、山間地という地形的困難性を有しながらも、互いが協力して、バリアフリー新法下において先駆的にバリアフリー基本構想を作成し、地域内のほか地域外からの利用者の意見もふまえつつ、ケーブルカー特有の困難性に対応した階段状の乗降場のバリアフリー化や、景観に配慮した新たなエレベーター塔やトイレの設置、ハイブリッドノンステップバスの配備を行うなど、規模の小さい町であっても、世界遺産を抱える観光地として戦略的にバリアフリー化に取り組んでいることを高く評価しました。



来訪者による現地調査



ケーブルカー駅ホーム

広島市

～新設野球場におけるバリアフリー化～

受賞者は、市民球場の新たな整備において、最大 300 席分の車いす用観戦スペース設置のほか、広島駅に通じる歩道と球場内コンコースを直結する広幅員の歩行者用スロープ、球場を一周する広幅員で平坦なコンコース、緩傾斜の観戦スタンド、1,000 席分の難聴者用補聴設備の整備など、高次のバリアフリー化を実現し、障害者をはじめ幅広い層へのスポーツ観戦への参加機会の拡大に積極的に取り組んでいる点を高く評価しました。



大型スロープ（奥が野球場）

高知県・高知市・四国旅客鉄道株式会社

～駅及び周辺区域における総合的なバリアフリー化～

受賞者は、互いに協力しながら鉄道の高架化、路面電車の軌道整備と合わせ、大規模な土地区画整理事業を実施して、駅前広場、バスターミナル、駅前駐車場、トイレ等の整備を行い、地域における各種交通モードの結節点である高知駅とその周辺区域において、市街地の抜本的な環境改善に取り組み、総合的なバリアフリー化を実現したこと、また、その整備に当たって、地域の障害者団体等との意見交換を幾度も行い、より有効なバリアフリーのための施設整備に結びつけたことを高く評価しました。



駅周辺全景